

地域おこし協力隊

活動を振り返って

Spotlight

スポットライト



これまでそれぞれの所属先で地域を盛り上げるために奮闘した地域おこし協力隊の3人が、3月をもって地域おこし協力隊の活動を終了します。

これまでの活動を振り返り、今後の活動について話してもらいました。

洞爺湖芸術館友の会 渡邊 紀子



平 成28年から、「洞爺湖芸術館友の会」で芸術館の運営に携わってきました。会員の「観てみたい」という想

いを基に年間予定を作り、形にする過程はやりがいがありました。美術関連の事は初めてでしたが、館長や事務局、ベテラン会員さんに助けもらい、多くのことを学ぶことができました。

また、一昨年までは、広報裏表紙で町民紹介記事を書いてきました。地域の人の取り組みや町への想いを直接伺う貴重な機会となりました。

今後は、教育分野や生涯学習施設の充実などに関わる事に携わっていければと思います。

洞爺湖町 が経ち、地域おこし協力隊としての活動が間もなく任期満了となります。NPO法人洞爺にぎわいネットワークに勤務し、NPOの活動や役場の仕事にも携わることで、民間企業とは異なる働き方について、多くを学ぶことができました。東京で事業をしてきたところは雇用する側でしたが、雇用される側のことを学ぶことで、大きな成長につなげることが出来ました。

3年の活動の間に、さまざまな縁があり、洞爺湖町に住み続けることになりました。この成長や縁を活かし、これからの暮らしを楽しみたいと思います。

NPO洞爺にぎわいネットワーク

丹野 大樹



教育委員会社会教育課 坂本 篤司



教 育委員会で2年と2カ月お世話になりました。主に子どもたちを中心に、コミュニケーションツールとしてのドイツゲームを案内してきました。現在店舗の出店は保留中ですが、町内だけでなく近隣の市町村からも声がかかるようになり、ドイツゲームが認知されてきた実感があります。温泉・洞爺地区にも常設する準備が進んでいますので、皆さんも1度は遊んでみてはいかがですか？他にもバンドセッションのイベントなども立ち上げることが出来て、充実した2年間でした。

4月からは、道の駅とうや湖の店員として心機一転、頑張りたいと思います。

東奔西走

第65回北海道広報コンクールで、広報とうやこが、組み写真・市町村の部で、特選に次ぐ入選に選ばれました。洞爺湖町になって初の入選です。受賞したのは、昨年3月号の冬まつりで、子供たちが雪の中で楽しんでいる表情を中心に組んだものです。この賞は、写真撮影にいつも協力的な町民皆さんの理解の上での栄誉だと思っています。これからも、紙面の向上に向けて励んでいきます。(H.O)

今月のワンショット



入江・高砂貝塚館で放水体験を行った文化財防火デー

